



# 認定特定非営利活動法人 海苔のふるさと会 会報 大森 海苔のふるさと館 ニュース51号

## 元海苔生産者 協力者会

協力者会は、地元の元海苔生産者の方々を中心に構成され、催し物の指導を始め、館の活動において重要な部分の指導を担っていただいています。協力者の方々の活動をご紹介します。



### ■協力者の方々

ふるさと館の活動は、地元の元海苔生産者である協力者によって支えられています。

協力者会は、各小学校で海苔つけ指導をしていた方々を中心に約60名でスタートしました。現在は、6つのグループに分かれて指導をお願いしています。また、元生産者のご子息など、海苔の仕事の経験がない方にも仲間に入ってもらい、技術の継承に努めています。

漁師特有の大きな声に大森言葉の方々ですが、とても義理堅く、今でも海苔の仕事に誇りを持っています。

### ■活動内容

#### \* 催し物の指導—海苔つけ体験、海苔網を応用して作る「緑のカーテンを編もう」や「あみあみペットボトルホルダーづくり」、「海苔簀づくり」など、海苔の仕事を体験する催し物の指導



をしています。江戸時代から続く技術、効率的かつ美しく仕上げるための工夫、暮らしに役立つ知恵などが、元生産者から直接学べるとあって、いずれも人気の催し物です。

**\* 催し物の材料、道具準備**—参加者の目に触れる機会は少ないですが、道具や材料の準備には多くの時間と手間が掛かっています。

海苔つけ体験は、毎回1時間前に集合し、生海苔の準備や海苔つけ台の調整などを行っています。

海苔網では、事前に打ち合わせと練習会を行います。初心者でも楽しめる作品が作れるようにさまざまなアイデアを出し合い、何度も



アイデアと試作品を持ち寄り、5年かけて現在のオリジナル作品になりました

改善を重ねてきました。また、編むための編針と目板を竹と板で作っています。

海苔簀の準備は約2ヶ月

前から始まります。梅雨明けの猛暑の中、ヨシ刈り作業を行います。毎回総勢約20名、半日かけての屋外作業です。刈り取るヨシの選び方、刈り取り方などを教えてもらいます。その後、約1週間毎日ヨシを天日干し、乾いたら葉落としと長さの選定、太さの選別など、手間の掛かる作業を何度も続けてようやく準備が完成します。

また、職員への技術指導もしています。ほとんどの作業は経験が必要なので、毎年繰り返しコツを学んで今年の新職員も早速指導をいます。職員にとって、なうけましたくはならない大事な先生方です。

#### \* 海苔の生育活動—大森ふるさとの浜辺公園では、毎年、協力者の指導で昔ながらの方法で海苔を育てる活動をしています。



夏のアク抜き作業に始まり、冬本番に網張り、海苔とり、4月のヒビ抜きと支柱抜きで終了するまで、準備も含めていくつもの作業があります。海での作業は更に難しく経験が必要なので、職員もまだ指導なしにはできません。協力者なしには成り立たない活動です。



**\*海苔の聞き書きなど**



昔の作業のお話はとても貴重です。技術的なこと、海苔生産者の暮らし振り、当時の大森の様子などさまざまな内容が詰まっています。これらのお話は書き残して、見学や催し物などの際に職員を通して

来館者の皆さんにお話しています。

また、一人ひとりにお話を聞き、記録に残す聞き書きも始めています。これは「聞き書き・大田区民の会」との協働事業として行っています。



**\*その他**—テレビ、新聞など元海苔生産者へのインタビュー依頼、まち歩きなどの講師役、海苔の作業全般の相談など、ふるさと館の活動の一つ一つが協力者の支えで成り立っています。

**■地域の歴史と伝統を、地域で受け継ぐ**

海苔の終焉から54年、ふるさと館の開館から8年が経ちました。現在の課題は、協力者のほとんどが80代とご高齢になっていることです。

開館当初より海苔生産者のご子息を中心に後継者の養成を行いました。そのかいかあって、現在は経験者と同じように指導に当たっています。しかし、時間の経過は避けられず、今後も地域の歴史と伝統を受け継いでいく人数の減少が予想されます。

(五十嵐)



**求む！  
海苔の伝統を  
受け継ぐ  
仲間たち**

日本一を誇った大田区の花巻の歴史と伝統を伝える人を育てることが、今、必要です。ふるさと館では、この活動に加わってくださる方を求めています。かつて海苔づくりを見て育った方、子どもたちの学びをサポートすることに興味のある方、この活動に関心のある方は、ぜひご連絡をお寄せください。お待ちしております。

電話：03-5471-0333 (大森 海苔のふるさと館) 担当：五十嵐



**滝本 彩佳**

小さい時から海が大好きで、家族旅行といえば海水浴・磯歩き・水族館でした。大学では海苔の仲間の藻類である珪藻を研究し、南極海で一か月間の調査航海に同行しました。ダイビングや磯の潮だまりで海藻や魚を見ることが趣味です。

品川区で育ち、品川・大森・羽田・糀谷の海苔の歴史には親しみがあります。伝統である海苔つけの技術を身につけ、多くの方にお伝えしたいです。ご指導ご鞭撻の程、よろしくお願い申し上げます。

**新職員のごあいさつ**

**高橋 麻衣**

大学では日本史を専攻しており、安政江戸地震について研究していました。趣味は、城跡巡りとバレーボールが中心です。

海なし県育ちのため、館での作業は全てが新鮮で、とくに海苔の生育作業については学ぶことばかりです。海苔や大田区の歴史についてはまだまだ未熟ですが、ゆくゆくは多くの方に魅力を伝えていきたいと思ひます。精進してまいりますのでよろしくお願ひ致します。



**舟越 寿尚**

大阪生まれ大阪育ち、オーストラリアに1年間滞在したほか、これまでずっと大阪住まいでした。

学生時代は人文地理学を専攻し、「グローバルに考え、ローカルに学ぶ」をポリシーとして研究を行ってきました。今後もこのポリシーを貫きながら、大森のこと、海苔のこと、日々学び、世界に向けて紹介できればと考えています。地域のみなさまから、学び教わる機会が多々あると思ひますが、どうぞよろしくお願ひいたします。

**認定特定非営利活動法人 海苔のふるさと会会報「大森海苔のふるさと館ニュース」51号**

平成28年6月1日発行  
編集・発行 認定特定非営利活動法人 海苔のふるさと会  
連絡先 東京都大田区  
平和の森公園2番2号  
TEL 03-5471-0333  
FAX 03-5471-0347

**海苔のふるさと会  
会員募集中!!**

海苔のふるさと館をより良い施設にするために、ご協力いただける方を募集しています。詳しくはホームページをご覧ください。